

# ケアマネジャー・リハ職の連携研修会

～高齢者の望む暮らしの実現を目指して～

報告書

日時：2025年6月21(土) 13時～16時

場所：姫路市医師会館 本館5階 大ホール

この研修会は、高齢者の望む生活を実現する取り組みの前提となる“虚弱高齢者の生活機能改善”について、本人など現場の声を反映させながら、ケアマネジャーとリハ職が連携した取り組みを実践する契機とすることを目的として開催しました。

ケアマネジャー17名、リハ職 27名 他7名 (計51名)の方がご参加くださいました。

講義1: ケアマネジメントの基本とあるべき展開方法について  
講義2: 利用者が望む暮らしの実現を目指した多職種協働ケアマネジメントの推進に向けて

社会福祉法人浴風会  
認知症介護研究・研修東京センター  
特別研究員

かわごえ まさひろ  
講師: 川越 雅弘 氏



## 講義のポイント(ケアマネジメントの展開方法)

- ・「本人の意向の把握」がケアマネジメントの出発点
- ・課題とは「目指す姿」と「現状」のギャップ
- ・まずは「本人にとっての課題」を考える
- ・効果的な対策は現状でなく、原因にアプローチする
- ・「最終の生活目標(ゴール)」を関係者で共有する。  
その上で、短期目標を設定し、場面を分けて具体的に対策を行っていく



演習1: 工程を分解し、課題の所在を絞った上で、対策を考える(ADL・IADLの課題の絞り込み)

演習2: 高齢者の希望する暮らしを実現するための支援策を考える(情報収集の内容と支援の検討)

## 【アンケート回答】(一部抜粋)

- ・演習で自分以外の方の意見を聞く事で、色々な考えかた、方法があると感じた(ケアマネジャー)
- ・各職種が違った視点でアイデアを出すことで、多方面での解決策を見出すことをできた(リハ職)
- ・立ち位置ごとの視点での計画となりがちで、共通の目的・目標に向かって共通の計画を立て、それをもとに職種ごとの手段となる計画を立てることの大切さを考えさせていただく機会となった(ケアマネジャー)
- ・ケアマネと自立支援につながるマネジメントを学べて良かった。普段の担当者会議など、話し合いの機会が今回のような視点で普通に行える地域となれば良いと思う(リハ職)

「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」他、今後のセンターの研修会は、ホームページの「研修会スケジュール」からご確認いただけます → <https://himeji-renkei.com/>